

報道関係 各位

※お手数ですが、ご担当の方にお渡しください。

2014年8月19日

大学創立者出身地の天童市で政策提言 明治大学生が“てんどう活性化プロジェクト”に挑戦 —4日間の現地調査・取材を経て、成果報告—

明治大学（東京都千代田区）は地域連携プログラムの一環として、8月19日から4日間、山形県天童市に学生11名を派遣します。学生たちは、「創立者出身地・てんどう活性化プロジェクト～中心市街地の活性化について～（イオンモールの開業に伴う中心市街地との回遊性と、北本町商店街以外の新たなイベントについて）」をテーマに、現地調査および現地でのフィールドワークを実施。さらに、地域住民・行政・関係団体の方々と熟議形式^{注1)}で課題を絞り込み、現地調査・取材を経て、成果報告（政策提言）します。本プログラムは今年度で3度目の実施となり、昨年度は、本プログラム学生が提案した、「あなたの第2のふるさとに天童が立候補します」が天童市の施策「ふるさと応援寄附てんどう」に一部採択されました。



宮城浩蔵（天童藩出身）

天童市は明治大学創立者の一人である宮城浩蔵の出身地で、2010年12月に「天童市と明治大学との連携協力に関する協定」を締結しています。天童市で行う市民向けの公開講座や、駿河台キャンパス（東京・御茶ノ水）では「創立者のふるさと食のフェア」など様々な取り組みを行っています。

■天童市での活動日程

◇現地調査

- 8月19日（火） オリエンテーション、グループワーク
- 8月20日（水） 現地調査・取材
- 8月21日（木） 現地調査・取材
- 8月22日（金） 13時～15時 成果発表

（天童市市民文化会館3階 実習室にて）



地域住民へ取材をする明大生（昨年度の様子）

注1) 熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくこと。明治大学では2012年3月、文部科学省との共催による「地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議『熟議2012 in 明治大学』」を開催した。

◇本件に関わるお問い合わせ

明治大学 経営企画部 広報課 担当：角田（かくだ） 電話：03-3296-4330